

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

数理生物学を用いた妊娠期間を通した日本人正常発育胎児の小脳発育の評価

[研究責任者]

産婦人科 医長 多田 克彦

[研究の背景]

超音波検査による胎児の臓器の発育や形態の評価は、様々な疾患の出生前診断に大きな貢献をしてきました。胎児小脳の発育に関しても多数の報告を認め、臨床的有用性はどの報告の正常値を使っても大きな違いはありませんが、妊娠期間を通した小脳の発育を生物学的（数理生物学的）観点から評価したものはありません。

生物の臓器発育は多くの場合 S 字型をとり、その発育の評価にはロジスティック曲線などいくつかの成長曲線が適することが知られ、これらの成長曲線の多くは、数理生物学の中心的役割を果たしてきた微分方程式によって導き出すことができます。様々な手法で胎児小脳発育を評価することにより、将来的に小脳障害を原因とする疾患の診断や管理に役に立つ基礎的な情報が得られると考えられています。

[研究の目的]

この研究の目的は、妊娠期間を通した胎児の小脳横径と小脳半球前後径の発育を数理生物学的な手法を用いて評価することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2016 年 11 月 1 日から西暦 2017 年 9 月 31 日の間に、当院の産婦人科外来で妊婦健診を受けた単胎妊娠の方。

●研究期間

研究実施許可日から西暦 2021 年 6 月 30 日。

●利用するカルテ情報

超音波検査を実施した妊娠週数、超音波検査にて測定した以下の胎児計測値；児頭大横径、児頭前後径、推定体重、胎児小脳横径、胎児小脳半球前後径

●検体や情報の管理

情報は、当院で収集し匿名化した上でファイルに保存します。この情報は、数学的な解析のため Medical Data Labo にメールで送付します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者である多田克彦が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター
産婦人科 多田克彦
電話 086-294-9911 FAX 086-294-9255